

【学校教育目標】
志を持って学び、
未来を切り拓く人間力を持
つ生徒の育成

文化発表会、終わる。みなさんのパワーを強く感じました。

今年の文化発表会もコロナ禍仕様で、ほぼ昨年と同様な形で行われました。サングレートホールへの保護者の観覧は、約100名でした。たくさんの皆さんにお越しいただき本当にありがとうございました。

さて、各クラスで真剣に取り組んだ「合唱コンクール」。あのステージでスポットライトを浴びながら行うからその緊張感と達成感、本当に貴重な体験だったと毎年思います。最優秀賞は、3の2。優良賞は3の1という結果でしたが、昨年以上に各クラスの頑張りは観客に伝わって来ました。閉会式の講評でも話しましたが、全クラス気合の入った「はい！」からのステージへの移動は観客を圧倒。2年生は2クラスとも男子の数が他学年に比べて少なく、2の1はピアノ演奏に白石くんが行っていたり、当日の発熱の欠席男子がいたりともあり、檀上には5人の男子しかいませんでした。そんな圧倒的に不利な中、精一杯頑張っているクラスの姿が印象的でした。また、今年の1年生は例年よりも声量が大きく、2年生・3年生との差は大きくありませんでした。また、体育館では展示発表が行われてい



ました。また、体育館では展示発表が行われてい



各学年が工夫を凝らして作品づくりをしてきていました。3年生の作品は例年通り来年の卒業式の際に会場に展示して、文化発表会を思い返してほしいと思っています。

昨年始まった自主発表「カラフル」は、今年も大盛り上がりでした。

文化発表会のステージを盛り上げるために、昨年始まった自主発表は、今年もダンスあり、歌あり、コントや寸劇ありで、

川内くんと北山くんの軽妙な司会により始まりましたが、あっという間に終了し、まさに今年も大成功でした。カラフルに出場して頑張ってくれた出演者のパワーは凄かったし、見ている観客の生徒たちの盛り上がった見る姿勢も素晴らしかった

「勝中、サイコー！」と途中で叫んでくれた生徒がいましたが、生徒のパワーを演じる側と見る側で共有できたように思いました。特に3の2は、このカラフルにクラス全員で取り組んでくれ会場を大いに盛り上げてくれたことに敬意を表します。

来年以降も、真剣に取り組む「合唱」とはじめて楽しむ「カラフル」の二本立てで、文化発表会の取組を勝山中の伝統としてもらいたいと願っています。

来年以降も、真剣に取り組む「合唱」とはじめて楽しむ「カラフル」の二本立てで、文化発表会の取組を勝山中の伝統としてもらいたいと願っています。

